

山江村議会だより Maruoka

No.81

こんにちは あかちゃん



令和2年7月豪雨から1年、
現地の状況は・・・

写真の説明

いまむら しょうり

今村 匠利くん 令和3年3月27日生

カメラを向けたら中々笑ってくれない匠利くんですが、この時は満面の笑みでした。この笑顔を絶やさず健やかに育てほしいです。(6区)

目次

- 令和3年第4回山江村議会定例会報告
 - ・令和3年度補正予算 P2～3
 - ・一般質問 P4～9
- 令和3年第5回山江村議会臨時会報告 P11
- 編集後記「だんだんなぁ」 P12

令和3年8月25日発行 発行:山江村議会 編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

令和3年第4回議会定例会報告

令和3年第4回定例会を6月9日から11日までの3日間の会期で開かれました。今回の定例会では、報告1件、承認10件、同意1件、令和3年度山江村一般会計、特別会計の補正予算含む議案4件、発委1件の17件を審議しました。

9日に開会し、提案理由説明の後、議案審議。10日は一般質問で6名が登壇し、村の行政課題等について質問しました。最終日の11日に、提案された全議案について質疑・討論・表決を行い、すべて原案のとおり可決・決定し、閉会しました。

主なものとしてこんなことが決まりました

山江村税条例の一部を改正する条例

上位の法律が改正されたので、当村の条例もそれに合わせて改正するものです。主なものに、寄附金税額控除対象の見直し、セルフメディケーション税制の延長、住宅借入金等特別控除の拡充などが改正されました。

固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

同じく上位の法律が改正されたので、当村の条例もそれに合わせて改正するものです。行政手続における押印義務や不服審査申出書への押印義務が見直しや廃止となりました。

山江村固定資産評価員の選任に関する同意を求めることについて

令和3年4月1日付けでの人事異動に伴い、固定資産評価員に現税務課長の平山辰也氏が選任され同意することとなりました。

山江村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症に伴う減免措置に関する通達が国からありましたので、それに伴い当村の条例を改正したものです。減免措置が令和3年3月31日までを令和4年3月31日まで1年延長とするものです。

令和3年度 一般会計補正予算（第2号）

■歳入

単位：千円

区 分	補正前の額	補 正 額	計	説 明（主 な 内 容）
分担金及び負担金	2,271	54	2,325	農業費分担金
国庫支出金	1,772,906	181,831	1,954,737	公営住宅災害復旧費補助金
県支出金	261,088	26,276	287,364	林業施設災害復旧費補助金
諸収入	17,411	7,367	24,778	建物災害共済保険料
村債	835,200	114,400	949,600	公共施設災害復旧費債
歳入合計	5,279,900	329,928	5,609,828	

■歳出

区 分	補正前の額	補 正 額	計	説 明（主 な 内 容）
議会費	59,450	△ 1,281	58,169	人件費
総務費	588,950	23,965	612,915	公共施設等総合管理計画改定業務委託
民生費	628,710	△ 37	628,673	子育て世帯生活支援特別給付金
衛生費	417,955	3,502	421,457	新型コロナワクチン委託料
農林水産業費	399,094	2,403	401,497	田んぼダム協力支援事業
商工費	63,474	9,104	72,581	管理センター改修工事設計監理委託料
土木費	160,423	9,652	170,075	支障木伐採委託料
消防費	115,894	271	116,165	新型コロナ対策負担金
教育費	271,309	1,335	272,644	新型コロナ対応スポーツ活性化対策事業
災害復旧費	2,175,100	285,491	2,460,591	農林業災害復旧事業
予備費	22,574	△ 4,480	18,094	
歳入合計	5,279,900	329,928	5,609,828	

令和3年度 特別会計補正予算

会 計	補正前の額	補 正 額	計	説 明（主 な 内 容）
国民健康保険事業	493,000	1,302	494,302	傷病手当金
簡易水道事業	167,000	2,349	169,349	施設修繕料



横谷 巡 議員

豪雨災害の 教訓として 早期避難の心掛けを！



命を守るための避難行動の改善点と教訓は

問

豪雨災害を振り返り、避難行動等、命を守るための行動の教訓は今年度に生かされているか。

答 村 長

鎮山親水の計画理念のもと住民参加により、水害対策を考えていく。教訓として自助、共助の部分がなと命を守るための行動にながらず、自分の命は自分で守る行動、地域の自主防災組織の訓練等対応したい。
万江地区の避難所設置は

問

全戸に配布された防災マップによると指定避難所は山田地区が15カ所、万江地区はゼロである。地域性から早急に対応すべき課題であり、災害リスクの高い万江地区への避難所設置の考えは。

答 総務課長

県の調査により、土砂崩壊の危険性から指定避難所のできる公民館がないということである。よって山田地区への避難か、空き家を活用するか、一時的避難所として、自然休養村管理センターを改造し、条件をクリアして指定避難所に昇格できないか検討をしている。

体の不自由な高齢者等弱者の避難誘導は

問

災害時、最も優先すべき課題である弱者の避難誘導対策は。

答 総務課長

対象者については日頃から事前把握しており、各地区の自主防災組織、消防団の協力のもと、避難誘導を迅速に行っていきたい。

災害時の自主避難の意識向上への取り組みは

問

本村は広域に住宅が点在し、土砂災害や浸水災害の危険度の高い集落があり、災害時、住民ひとり一人が適切に判断行動し、安全な場所へ自主避難する意識の向上への取り組みは。

答 総務課長

気象情報を的確に入手し、災害に遭わない村民の判断材料として、防災無線等での情報提供や防災意識研修を通じ、早めの自主避難につながる意識の向上に取り組みたい。

男女共同参画の推進は

問

男女平等と女性の社会的地位向上に向けた考えを伺う。

答 健康福祉課長

男女の性別に関わりなく、個性と能力が十分に発揮でき、正当な評価と不当な扱いをしないことを基本としたい。行政、政治、社会的分野でいろんな考え方や経験をしてもらい、委員等の登用を図っていきたい。

問

小中学校における男女共同参画の学習状況は。

答 教育長

学校教育活動全体を通して行うのが基本である。人権の尊重など男女共同参画の意識の醸成を図り各学年の発達段階に応じた学習指導を行っている。





西 孝恒 議員

消防団員の 処遇改善を！ 地域振興に くま川鉄道の様々な魅力！



被災から1年、川村駅周辺

問

災害の多様化や激甚化している状況において、地域防災力の中核である消防団員の全国的な減少傾向は、看過できないところであるが、本村の近年における団員数の傾向や報酬等の推移について。

答 総務課長

近年の団員数は、平成30年度が201名、令和元年度が195名、昨年度が193名と若干減少している。団員の報酬及び費用弁償については、近年改定は行っていないが、人吉球磨管内の10市町村のうち3番目に高い額となっている。

問

(消防庁)は消防団員の処遇に関する検討会を開き、その中間報告に基づく処遇改善を全国の自治体に通知したとあるが、本村の対応や進捗状況について。

答 総務課長

国は交付税参入の基準となる消防団員への報酬等を適切に定めた基準を策定した条例等の、改正をするようにとの通知であるが今後の本村の対応は県内や、人吉球磨管内の状況を参考に今年度中に条例改正等の検討を行いたい。

問

消防団員の確保には、報酬の引き上げと同時に負担の軽減など抜本的な対策が必要と思われるが、本村の改善策や方針等について。

答 総務課長

消防団が弱体にならないよう、必要最小限の訓練は負担とならないよう続けた。各分団への被覆等の装備品また施設の整備や備品等の購入も実情に合った支援など行っていく、改善については消防団幹部会から各分団の意見を聞きながら



出初式にて通常点検を受ける各分団

鉄道の資料によると32人である。

問

くま川鉄道の復旧復興は人吉球磨全体の振興としても注目される中、部分運行についての状況や全線復活運行となった場合、これまでに以上の活用など持続可能な方策が必須と思われるが、鉄道復活による波及効果や支援策について。

答 教育課長

人吉球磨の振興には欠かせなくくま川鉄道の復旧復興に向けて、今年度11月部分運行というところで、肥後西村から湯前までの再開を目指し進めている。また今後の支援策として特に沿線高校に通学する高校生の交通手段としては欠かせない鉄道であり、災害復旧事業には継続して支援する。運営については人吉球磨が一体となって地域の活性化になるよう取り組んでいく。

問

くま川鉄道被災前に於ける本村の高校生の利用者数について。

答 教育課長

令和2年度の山江中卒業時の進路状況から試算すると35人前後ではないかと推測する。
尚令和元年度は、くま川



本田 りか 議員

住民の命を守る避難道の

早期確保を！

問

下の段地区から上原田町への道路整備について、現在の状況と隣接する市町村に繋がる道路を整備する場合、どのような手続きが必要なのか。

答 建設課長

市村界から上原田町に繋がる道路については、人吉市の管理する市道堀万江線については、山江村の村民の方も利用する事もあり、人吉市の担当課に対し、整備や維持管理についての申し入れを行なっている。手続きについては、基本的には道路を管理する市町村への要望活動となる。

問

昨年7月4日の大水害では、下の段側が越水し、橋を渡つての避難が出来な

った為、住民の方々は高台や狭い農道を通り、上原田

下の段地区から上原田町へ台地へと避難をされた。その狭い農道の左側は、ガードレールもない山の斜面となっており、右側は山林で覆われ、土砂や落石などが堆積し、大変危険で通りづら

答 建設課長

道は山江村民の方々が農道としても利用されている。越水した堤防は、かさ上げされていない為、再度越水した場合、この狭く危険な農道一本しか逃げ道はない。この道路を村民の方々の命を守る避難用道路として整備して頂ければ、昨年の様な災害時は勿論、日々の農道、殿様道やトレイルランコースとしても活用できると考えられる。以上の事を踏まえ、この下の段地区と上原田町を繋ぐ避難道の早期整備について伺う。

答 村長

今後とも予想される大雨や集中豪雨についての判断材料として、避難所や親戚、友人、知人宅、更に車中泊などの分散型避難も検討され、明るい時間帯での早めの避難準備と避難開始を取り、自分の命は自分で守る行動を取って頂きたい。道路改良のハード面の整備については、関係市町村の協力、土地所有者の理解、予算財源の確保など諸問題等がある。まずは、現段階で可能な地域の地理的実情に合った避難経路の再度確認と今できる対策を認識し、配布した総合防災マップなどを参考に、地域で話し合いを行い、共有するソフト面の対策を取って頂きたい。

下の段地区から上原田町への道路は人吉市道であり、現在、人吉市での整備計画は無く、市民の皆さん方からの改良の要望も無い道路になっている。市としては維持管理のみ行なっている状況だが、再度、要望する。



狭く危険な市道「堀万江線」



中村 龍喜 議員

小規模校の将来について



問

今後の小規模校の在り方について

答 教育課長

今後の小規模校の在り方についてですが、令和2年度に村内各学校の老朽化調査を行い、学校施設等長寿命化個別施設計画を作成いたしました。その結果今後30年から40年間、大規模改築や改築など、学校施設を維持及び更新していくために、長寿命化対策をした場合の必要経費は、小規模校の万江小学校でおよそ7億から10億になる見込みで、村内小中学校全体に必要な経費の総額は、およそ45億から58億になる見込みです。また村内の学校施設で最も築年数が経過している山田小学校が、約15年後の改築を迎える時期に3校を集約した場合の経費を試算して

答 教育課長

みたところ、およそ28億円となり、長寿命対策を施して施設を維持していく経費に比べ、40%から50%程度縮減できる見込みです。

問

今後の児童数の推移、また地域、保護者の協議について



万江小学校全景

児童数の今後の推移、地域、保護者との協議については、まず村内小中学校の令和3年度の児童数は、山田小学校196人、万江小学校33人、合わせて229人です。児童数の今後の推移については、出生数もともに、来年度以降転入転出がない場合、万江小学校の児童数は40人と増加しますが、令和5年度以降は、少しづつ減少し、令和7年度には29人と大幅に減少し令和9年度にはさらに減少し、23人となる見込みです。なお、質問に関しての地域及び保護者等との協議については、現時点では予定していません。

問

災害危険立地等の現状について

答 教育課長

万江地域においても、万江小学校が位置します城内、神園地域においても土石流災害の恐れのある土砂災害警戒区域に指定されているところであり、村としても園児、児童を含めた地域の方の安心、安全の確保のために、熊本県に対して砂防施設の要望を行っています。



今後の小規模校の展望は？



立道 徹 議員

新型コロナウイルス ワクチン接種について 村道・橋梁の 災害復旧について



足算瀬橋

問 新型コロナウイルス接種希望調査の結果は。

答 健康福祉課長

1236名（65歳以上）へ調査表を送付し、1133名（92%）提出。その後、申し込み希望があり、随時受付をしている。

問 人吉市医師会との連絡協力体制は。

答 健康福祉課長

医師会の協力のもと、接種ができる医療機関を取りまとめ、健康福祉課で名簿を作成し、医療機関へ提出。医療機関から本人へ連絡、接種終了後医療機関がワクチン接種記録システムに登録し、健康福祉課で毎日接種状況を確認している。

問 2回接種する理由は。

答 健康福祉課長

新型コロナウイルスの発症を95%抑えるという効果が報告されている。

問 接種状況について

答 健康福祉課長

6月9日現在で、400人で35・5%となっているが、医療機関から、随時報告がないので正確な数字ではない。

問

単独行動が困難な方や交通手段がない方への対応は。

答 健康福祉課長

かかりつけの病院での接種がほとんどである為、普段の受診の交通手段が

利用できており、支援が必要な方は、介護者の付き添いがある為に問題ない。「やまえ暮らし応援券」の活用もよい。

問

65歳以下の方へのワクチン接種の見通しについて

答 健康福祉課長

2回目終了が11月末になる。12歳以上であるので保護者の同意が必要になるのでご理解を。

問

吐合宇那川線・岩ヶ野下払線の災害復旧工事時期について

答 建設課長

吐合宇那川線は、堆積土砂撤去工事完了後に工事発注予定。岩ヶ野下払線は、同一箇所にも県治山工事が令和4年10月に完了予定でその後、工事発注です。

令和5年度の下半期（3月末）になる恐れがあるので、県と調整する。

問

柚木川内橋・足算瀬橋の現状と今後の見通しは。



柚木川内橋

答 建設課長

柚木川内橋は、道路幅員は同じ、橋梁の嵩上げにて復旧今年度に橋の撤去、新しい橋台設置予定、令和4年度に上部工、令和5年度に完了予定。足算瀬橋は、県道側の復旧工事を行い、施工時期は、本年10月頃から工事着手し、令和4年の5月頃完了予定。



赤坂 修 議員

被災者に 寄り添った 生活支援を



下の段地区水田

問

ふるさと応援寄付金の実績は。

答 企画調整課長

令和2年度のふるさと応援寄付金の実績は、寄付額が7588万7千円で、令和元年度より、6200万円多く寄付をいただいている。

問

ふるさと納税を活用した被災地支援としての災害支援金の寄付額は。

答 総務課長

災害支援金として、519万8千円の寄付があつている。

問

災害支援金の活用はどのように考えているのか。

答 総務課長

災害支援金の活用については、ふるさと応援寄付金の一部として基金に積み立てられているので災害支援金の区別なく、ふるさと応援基金から今年度の災害復旧費への財源の一部として充当を検討している。

問

ふるさと応援寄付金の一部として災害復旧費の財源として充当するというところであるが、7月豪雨の災害復旧については、復興スケジュールに基づき着実に復旧を進めていただいているが、令和2年9月定例会でも質問したが、水田の大規模被害があつた、下の段地区、淡島地区等は、県管轄工事等の兼ね合いや大規模工事が必要ということなどで、本年度も水稲の作付けができず、農業共済からの補填も無く、自家消費米も購入されているのではないかと考える。災害支援金を活用した被災農家への生活支援の考えはないのか。



被災した下の段取水堰

答 産業振興課長

去年の豪雨災害により、万江地区の水田が甚大な被害を受けており、去年の収穫ばかりではなく今年度も作付けができず自家消費米も収穫できない現状である。担当課として、近隣の自治体やほかの災害のときに農業関係でそういった支援金が出されているのか調査をし、山江村農林産物等災害時生産向上奨励金要綱



被災した濁毛取水口

を改定するのか、また、新たな要綱を制定するのか、また、財源については災害支援金等を活用するのか、議会にも諮りながら制定の調査を進める。決まり次第、被災者への周知をしていきたい。

総務文教常任委員・産業厚生常任委員 合同現地調査



宇那川の土砂撤去について説明を受ける

災害から1年の現場は今・・・

令和3年7月13日、梅雨明けした青空の中、総務文教常任委員と産業厚生常任委員とによる村内研修の一環として、村内の現地調査をおこなった。令和2年7月豪雨から1年が経過し、災害復旧の進捗状況や今後の予定などを担当の建設課から説明を受け、またいつ起こるかわからない災害に対し、終始緊張感をもって視察を終えた。



山田地区（別府）の土砂置場も視察



河川沿いに設けてある仮土砂置場

公共工事請負変更契約の締結議案を賛成少数で否決

令和3年第5回臨時会を7月16日に開催し、同文議決議案1件、公共工事請負変更契約の締結議案1件、一般会計補正予算（第3号）1件、計3件を審議し、公共工事請負変更契約を除く2件を原案どおり可決した。同文議決については、熊本県市町村総合事務組規約の一部変更によるもので、組合組織機関の名称変更によるもの。一般会計補正予算については、歳入歳出それぞれ3,000千円を追加し、総額5,612,828千円とするもので、主なものとして新型コロナ対策の一環として一度に複数人数の感知が可能なサーモセンサーの購入費である。

なお、公共工事変更契約の締結については、3月議会定例会において可決された「宇那川河川災害復旧工事」分である。質疑・討論となり、起立採決の結果、賛成少数により否決された。

採決（起立採決）

議員名	本田 りか	久保山 直巳	中村 龍喜	赤坂 修	森田 俊介	横谷 巡	立道 徹	西 孝恒	中竹 耕一郎	秋丸 安弘
賛否	○	○	×	○	×	×	×	×	—	○

賛成：○、反対：×、採決に加わらない：—

岩手県奥州市議会が ICT 教育について当村を視察

令和3年7月30日、岩手県奥州市（人口約11万3千人）市議会が当村のICT教育について視察された。もちろんこのような状況下であるため、オンラインでの視察である。当日は、当市議会より7名、当村より議長及び事務局にて対応に努めた。また当村におけるICT教育のこれまでの取組と成果について、藤本教育長を講師として1時間以上にわたり細かく説明をしてもらった。説明の後も市議会よりたくさんの質問があり、また当村が開催する研究発表会への参加も要望されていることから、奥州市のICTに取り組む熱意が伝わってきた。世の中が落ち着いたらぜひ当村に来村していただき交流をしたい旨を伝え有意義な視察を終えた。

ICT教育の成果を説明する藤本教育長



歓迎の挨拶をする議長



奥州市はメジャーリーガーの大谷翔平の出身地

「議員活動の1コマ」



6月11日、6月議会定例会終了後、恒例となっている高速道路法面の除草作業（上下線）を行いました。当日雨も心配されましたが、終了まで持ちこたえスムーズに実施することが出来ました。



だんだんなあ

残暑の候、全国的な新型コロナウイルス感染症の急速な拡大により、延期されていた「令和3年山江村成人式」も残念な事に中止となりました。

今、社会は大きく変革する時代を迎えています。新型コロナウイルス感染症の拡大はインターネットなどを活用する情報社会の進展をより加速化させており、便利で豊かな未来社会へ向け、大きく動き始めています。

成人を迎えられた皆さんは、それぞれの夢に向かい邁進される事と思いますが、こうした時代の変化を見据える為にもこれからも生涯に渡って学び続けられ、それぞれのステージで活躍して頂きたいと思います。

私たち議員においても常に学びを忘れず研鑽して参ります。

（文責 本田 りか）

山江村議会広報編集特別委員会

委員長／赤坂 修

委員／久保山 直巳

本田 直巳
中村 龍喜